

伊勢屋さんを修景しました！



Before

唐沢橋の東に位置する伊勢屋さん。白いサイディングの壁が目立つ建物でした。白系の自動販売機も3台あります…。

正面の壁を杉板貼りにし、新たに看板を設置。ほかにも自動販売機に茶系のフィルムを貼りつけたほか、「たばこ」の看板にも木製の飾りをつけてみました。

After



伊勢屋さんの修景

しゅうけい

2010. 2/28

これまで実施してきた修景作業は、「ゴミ集積箱」、名鉄「御嵩駅」、「ふらっとハウス」と、公共のものが中心でした。しかし、御嶽宿内の大半が町民のみなさんのお住まいです。今後、景観形成をさらにすすめていくためには、こうした地域住民のみなさんのご理解ご協力が必要不可欠です。



そこで今回は、2009年8月に御嶽宿地域にお住まいの方を中心に実施した「御嶽宿アンケート」を受けて、「景観づくりに協力する」との回答をいただいたうち、伊勢屋さんにご理解をいただき「景観づくりモデル事業」としての修景を実施しました。

しかしながら「ふらっとハウス」同様、高所での作業が多いこと、また一般のご家庭であり、きちんとした仕上がりが必要であると考え、「みたけ地域活性化委員会」としては、今回、所有者さんに修景後のデザイン案を提案させていただきました…。正面の白いサイディング貼りは、杉板の縦貼りとし、新たに製作する古風かつ趣きのある看板としました。また、西側の壁面は、宿場の入口である「御嵩駅」方向から見通しがきくため、高さ2メートルほどの腰板貼り風にデザインしてみました。

ほかにも細かな点に配慮し、真っ白な自動販売機には、茶系のカッティングシートを張り付けて建物との調和をはかりました。このほか「たばこ」の屋外看板も板で囲い、ちょっとした屋根も取り付けてみました。

今後、御嵩町として景観形成に係る補助金制度を創設していくためのモデル事業としての試みでしたが、快くご了解をいただいた伊勢屋さんに感謝するとともに、制度設立後は御嶽宿地域への広がりを期待する事業となりました。



伊勢屋さん修景後のデザイン案。この時点では、看板にノタの残る板を使用するようになっていましたが、最終的にはレトロチックな看板に決定しました…。